

産地情勢 (2021.10.14)

ブラジル産とうもろこし

夏作は作付けが順調で 38% (前年 39%) 進捗した。(10月13日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2021/22 年産の生産見通しを 116.3 百万トン (前年 137.8 百万トン+34%) と発表した。(10月8日)

クropp カレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内 飼料需要 向
サリナ・コーン (冬作)		1-3 月上 旬	4月	6-8月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

作付けが 10%進捗した。(前年 3%)、作付面積は前年比+5%の見通し。主産地の中長期の天候は良好な見通し。(10月13日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2021/22 年産の生産見通しを 140.75 百万トン (前年 137.8 百万トン+2.5%) と発表した。(10月8日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクropp カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

成長期に乾燥高温の予報が出されており、悪影響が懸念される。(10月12日)。

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2 段階に分かれる。	9-11 月始め	12-1 月	3-4 月
	12-1 月	3-4 月	6-7 月

アルゼンチン産大豆

成長期に乾燥高温の予報が出されており、悪影響が懸念される。(10月12日)。

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクropp カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

米国産とうもろこし

収穫は 41%進捗した（過去 5 年平均 31%）。品質は優良が 60%。（前年 61%）（10 月 10 日）

米国産大豆

収穫は 49%進捗した（過去 5 年平均 40%）。品質は優良が 59%。（前年 63%）（10 月 10 日）

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測（9 月 10 日）

とうもろこし

（百万トン）

	2019/20	2020/21	2021/22
米国（9-8 月）	346.0	358.5	380.9
ブラジル（3-2 月）	102.0	86.0	118.0
アルゼンチン（〃）	51.0	50.0	53.0

2020/21 年度末の米在庫率は飼料需要が減少し、8.34%に改善した。

21/22 年度は単収が増加し期末在庫率は 10.15%に改善した。

大豆

（百万トン）

	2019/20	2020/21	2021/22
米国（9-8 月）	96.7	114.8	121.1
ブラジル（2-1 月）	128.5	137.0	144.0
アルゼンチン（4-3 月）	48.8	46.2	51.0

2020/21 年度末の米在庫率は生産量が増加したので、5.68%に改善した。

2021/22 年度末の米在庫率は単収が増加したので、7.27%に改善した。

アルゼンチンの 21/22 年度の生産量は百万トン下方修正された。

*北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。（USDA）